

別記様式第1号（第2条関係）

政務活動費交付申請書

2025年9月30日

（宛先）栃木市長  
（栃木市議会議長経由）

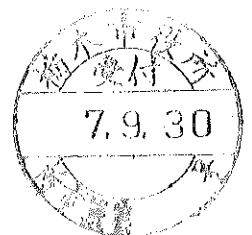
会派の名称 創政会  
会派代表者氏名 小太刀孝之 ●  
（自署しない場合は、記名押印してください。）  
（所属議員 2 人）

政務活動費の交付を受けたいので、栃木市議会政務活動費の交付に関する条例第4条の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額（ 2025年 4月～2025年 9月分） 141,212円

<内 訳>

項 目	金 額	備 考
研究研修費	130,375円	第20回全国市議会議長会 研究フォーラム
調査旅費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
会議費	円	
人件費	円	
その他の経費	10,837円	タブレット端末通信料他
支出合計	141,212円	



別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金額 130,375 円

2025年 9月 30日

会派代表者氏名 小太刀孝之

支出項目	研究研修費
内 訳	第20回全国市議会議長会研究フォーラム ㊦交通費 92,082 円 ㊧宿泊費 20,000 円 ㊨参加費 18,000 円 ㊩振込手数料 293 円 計 130,375 円
事 由	研究研修として
債 権 者 住所・氏名	㊦・JR 東日本 東京都渋谷区代々木 2-2-2 ・東京モノレール 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービルディング南館 10 階 ・日本航空(株) 東京都品川区東品川 2-4-11 野村不動産天王洲ビル ㊧㊨ 全国市議会議長会 東京都千代田区平河町 2-4-2 委託：(株)JTB ビジネストラנסフォーム 第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌係 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ㊩みずほ銀行 東京都千代田区大手町 1-5-5

(様式第4号)

### 視察及び研修会旅費計算票兼支払証明書

会 派 名	創政会	科目	研究研修費		
視 察 研 修 月 日	令和7年 8月 27日 ~ 令和7年 8月 28日				
参 加 者	福田裕司・小太刀孝之				
視 察 研 修 名	第20回全国市議会議長会研究フォーラム				
場 所	札幌文化芸術劇場 hitaru「中継会場」札幌パークホテル 3F「エメラルド」				
視 察 研 修 経 路					
※行程・運賃のわかる経路図を添付してもよい。 ※交通費は、区間ごとに記入してください。					
8/26(火) 大平下(7:46 発)⇒小山(8:02 着)⇒小山(8:15 発)⇒新橋(9:49 着) ⇒新橋(9:55 発)⇒浜松町(9:57 着)⇒浜松町(10:10 発) ⇒羽田空港第一ターミナル(10:26 着) 羽田(12:40 発 JAL515 便)⇒新千歳(14:15 着) ⇒新千歳(15:09 発)⇒札幌(15:52 着)前泊					
8/27(水) 終日研修					
8/28(木) 札幌(12:00 発)⇒新千歳空港(12:46 着) 新千歳(15:10 発 JAL514 便)⇒羽田(16:50 着) 羽田第一ターミナル(18:23 発)⇒浜松町(18:46 着) ⇒浜松町(18:52 発)⇒赤羽(19:25 着) ⇒赤羽(19:29 発)⇒小山(20:28 着) ⇒小山(20:40 発)⇒大平下(20:56 着)					
支出区分	区間等	単 価	数 量	合 計	備 考
JR 運賃	大平下～浜松町	1694	2	3388	領収書なし
東京モノレール	浜松町～羽田第1ターミナル	519	2	1038	領収書なし
航空運賃(往復)	羽田～新千歳	39155	2	78310	
JR 運賃	新千歳空港～札幌	1230	2	2460	領収書なし
JR 運賃	札幌～新千歳空港	1230	2	2460	領収書なし
東京モノレール	浜松町～羽田第1ターミナル	519	2	1038	領収書なし
JR 運賃	浜松町～大平下	1694	2	3388	領収書なし
宿泊代		10000	2	20000	
研修参加費		9000	2	18000	
振込手数料				293	
				130,375	

※計算票に代えて、旅行社等からの請求書又は領収書に添付された明細書を提出してもよい。  
※領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和7年 9月30日

会派名 創成会

代表者名 小太刀孝之

(自署しない場合は記名押印してください。)





Web 6e420729fc186d6ce550cc4a49f3a34f  
2025年07月16日 11:37発行

## 領収書

下記の金額正に領収いたしました。

創政会 様

金額 39,155円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312228502890
航空券/料金券発行日	2025年6月28日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社  
登録番号 T7010701007656

## ご利用旅程・運賃・料金明細

フクダユウジ 様

2025年8月26日 (火)

運賃：往復セイハー

12:40 東京 (羽田)

クラス：普通席

14:15 札幌 (新千歳)

便名：JAL515

39,155 円

2025年8月28日 (木)

運賃：往復セイハー

15:10 札幌 (新千歳)

クラス：普通席

16:50 東京 (羽田)

便名：JAL514

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 39,155円



Web 37e49febae6561c5385a37eab86fc22e  
2025年07月16日 11:44発行

## 領収書

下記の金額正に領収いたしました。

創政会 様

金額 39,155円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312228502889
航空券/料金券発行日	2025年6月28日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

## ご利用旅程・運賃・料金明細

コダチ タカユキ 様

2025年8月26日 (火)

12:40 東京 (羽田)

14:15 札幌 (新千歳)

運賃：往復セイバー

クラス：普通席  
便名：JAL515

39,155 円

2025年8月28日 (木)

15:10 札幌 (新千歳)

16:50 東京 (羽田)

運賃：往復セイバー

クラス：普通席  
便名：JAL514

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 39,155円

(様式第3号)

## 視察研修・研修会等報告書

年 月 日	2025年8月27日 ~2025年8月28日
調査目的又は 研修会等の名称	第20回全国市議会議長会研究フォーラム
場 所	札幌文化芸術劇場 hitaru 札幌市中央区北1条西1丁目 [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」
出 席 者	福田裕司・小太刀孝之
報告事項	
第1日 8月27日(水)	
13:00【開会式】	
13:20【基調講演】主権を預かる誇りと責任 元衆議院議長 伊吹 文明	
14:40【パネルディスカッション】 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 コーディネーター 近畿大学法学部教授 辻 陽氏 パネリスト 東京大学教授 牧原 出氏 読売新聞東京本社政治部次長 白石 洋一氏 山口県宇部市議会議長 山下 節子氏 北海道札幌市議会議長 長内 直也氏	
第2日 8月28日(木)	
9:30【課題討論】 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」 コーディネーター 関東学院大学法学部地域創生学科教授 牧瀬 稔氏 事例報告者 長野県岡谷市議会議長 今井 康善氏 鹿児島県さつま市議会議長 平神 純子氏 石川県白山市議会議長 中野 進氏	
11:00【閉会式】 報告書は別紙の通り	
上記のとおり報告いたします。 令和7年9月10日 栃木市議会議長 梅澤 米満様 会派名 創政会 代 表 小太刀孝之 報告者 小太刀孝之	

地方議会議員のなり手不足は、多くの市議会に共通する重要な課題であり本市も例外ではありません。今後、人口減少の加速化と高齢化の進展により、議員のなり手不足問題が深刻化していくと考えられます。市民にとって魅力ある市議会とは何か。多様な人材が市議会に興味を持ち参画に繋げるために、各市における地方議会議員のなり手不足解決に向けた取り組み事例等を学習し、今後に繋げるために会議に参加致しました。

以下、研修内容及び所感を報告致します。

【基調講演】 「主権を預かる誇りと責任」 元衆議院議長 伊吹 文明氏

伊吹氏のこれまでの経験談や歴史的な出来事（国鉄、郵政民営化等）は非常に興味深い内容でありました。そして、公演のタイトルである「主権を預かる誇りと責任」について議員の立場はまず非常に重いこと、市長との関係においても二元代表制の重要度などについて熱く伝えて頂きました。議員の大変さについても触れられ、昨今では議員生活終了後に、生活保護受給者が増加している現状に、良い人材の発掘には議員の老後についてもこれからは考えて行かなくてはならないと、言及されていました。また、自分を支持してくれている支持者に対し、議員活動の現実面や行政との関係性を含め理解してもらえるように、説得できる議員にならなくてはならないという点も印象的でありました。

【パネルディスカッション】

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足を考える」

地方議員のなり手不足問題では、地方議会・議員に対する無関心、もしくは不信が広がる現況、地方議員選挙における投票率の低下、ここ数回の統一地方選挙では、無投票当選者や定員割れが顕著に増加したことなどが取り上げられました。また、第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」（2022年）では、「多様な人材の参加を前提とした議会運営」や「住民に開かれた議会のための取組み」や勤労者等の「立候補環境の整備」が求められています。

読売新聞社が2023年の統一地方選挙前に有識者を対象に行った全国世論調査「地方議員のなり手不足の理由」では、立候補するためにお金がかかり過ぎるが最も多く、次いで

議員の仕事に魅力を感じない、落選したら職を失うなどが回答の上位を占めました。

有識者が感じている点は、議員も痛感しておりお金がかかり過ぎるや、報酬が低い、私生活が犠牲になっている日々が多く、ある女性議員は「子育て世代の声を代弁できるのは大きなやりがいであるが、我が子とふれあえないのはやっぱりつらい」などの意見も上がっています。地方自治の専門家からは、有権者の付託を受けた議員の責務を指摘しつつ、議員の働き方には基準がなく、やろうと思えば仕事は際限なく増える。多様な意見を反映するためにも、誰もが議員として活動できる働き方のモデルを議会が提示する必要があるのではないかとコメントもされています。

これらの課題に対し、解決に向け様々な提案がありました。地方議会に政党政治はそぐわなく、無所属議員が多いことから中央の政党対決とは距離を置き、地域の発展に一致団結すべきとの意見や、人材供給システムの構築として、小学校単位や自治会単位で人材を選び、地域全体の結びつきの再考を実施することで、「出たい人」だけでなく、「出したい人」が出馬できる環境整備が重要であるとの意見が出されました。

また、立候補休暇、夜間議会、オンライン議会の導入などについて議論がされました。

次にパネリストから、山口県宇部市議会における議会の役割・議員の仕事への関心を高める（やりがいを知ってもらう）、現役世代、多様な人材が立候補しやすい環境づくりを市議会が進めるべきこととして、取り組んでいる内容報告がありました。主権者教育として、現職の市議会議員4人が、小学校で開催された模擬選挙に立候補し、校内には選挙ポスターを掲示し、選挙公報も作成。立候補した議員は、地域の課題<sup>2</sup>ために取り組んでいくことについて演説を実施し、児童は演説を聞いた後に立会人が見守る投票所で模擬投票を行ったというものでした。また、議員になりたい人が立候補しやすい環境づくりとして、会社員が議員に転身した場合も切れ目なく社会保障制度を継続できるように、議員が地方公務員共済組合員資格を取得し、現役世代が家族の将来や老後の生活を心配することなく立候補できる仕組みづくりと考え、厚生年金への地方議会議員加入に関する意見書を都道府県議会、市議会、町村議会で可決しました。これから年金制度改正に向け三議長会会長が政府・与野党幹部へ要請していくとのことです。

## 【課題討論】 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

2023年の統一地方選挙では、投票率の低下や無投票当選者の割合が高まるなど、小規模議会における議員のなり手不足が深刻化しました。若者や女性、会社員など多様な人材の地方議会への参画を促し、議会を活性化することは多くの市議会に共通の緊要な課題です。今後は、議会に対する関心を高め多様な人材の地方議会への参画促進に地方議会がより積極的に取り組む必要性があります。地方議会議員のなり手不足問題への具体的な取り組み内容が議論され、長野県岡谷市の取り組みが報告されました。

岡谷市ではこれまで議会改革として、本市でも行っている議会報告会の開催や市議会だよりの発行、政務活動費のホームページへの公表・掲載等を行ってきましたが、2023年の統一地方選挙（市議会議員選挙）において、定数割れの無投票となり全国21自治体が定員割れが発生した中、市では岡谷市だけという不名誉な事態となってしまいました。

そこで、新議会体制で取り組む重点項目として情報共有、住民参画、機能強化、加えて議員のなり手不足対策に取り組むこととしました。一般質問の傍聴キャンペーンの実施、議会をもっと身近に感じてもらうために、一般質問開催前にコーラスグループによるコンサートを議場で開催や外部サイトを活用し、マニフェストスイッチで各議員の政策の公開議会運営の専門家によるアドバイスによる機能の強化を図ってきました。加えて、議員のなり手不足対策として、議員のなり手不足に向き合うシンポジウム開催および市民との対話集会（全6回）を実施し、アンケートの結果を踏まえて議員定数や議員報酬について全議員で構成する議会改革検討委員会で議論を重ね、議員提案による定数条例を可決し議員定数削減に繋がりました。本市では、議員のなり手不足による定数割れ（無投票）は発生していませんが、今後人口減少が加速化していく中で、なり手不足が顕在化していくことが考えられます。議員の魅力とはなにか。魅力ある市議会とはなにか。多様な人材の議会への参画促進に向けた環境整備を進める時期に来ていると感じました。

令和7年9月10日

創政会 小太刀孝之

## 第 20 回

# 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

開催日 : 2025 年 8 月 27・28 日

場 所 : 札幌文化芸術劇場 hitaru

### < 研修報告 >

第 20 回全国市議会議長会フォーラム in 札幌が、令和 7 年 8 月 27 日（水）・28 日（木）の日程で、札幌文化芸術劇場 hitaru において全国から 2,500 名の参加のもと開催されました。

大会のテーマは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」と題し、研究フォーラムが実施されました。

私も会派 2 名で参加し有意義な研修となりました。以下研修内容並びに所感について記述いたします。

#### ■8 月 27 日（水）1 日目

○第 1 日目では、元衆議院議長の伊吹文明（いぶきぶんめい）氏から「主権を預かる誇りと責任」について、基調講演を聞かせていただきました。伊吹文明元衆議院議長におかれては国会においても大臣を含め数多くの要職を務めるとともに、政治家としての資質や実績も卓越しており、令和 3 年 9 月に議員引退をされている方であります。講演での語り口調も重厚感、説得力があり心に残った講演で

あったと感じました。

講演の内容では、戦前日本での主権は天皇にあったが、戦後は国民に委ねられ、日本の地方自治の在り方は市民からの選挙により、主権を預かる重要な責任があるため、地方議員の責任の重さについて述べられました。併せて、主権を預かっている自負を持つことの重要性についても述べられ、改めて地方議員としての「主権を預かる誇りと責任」について、思い知らされたと感じとることが出来ました。加えて、地方議員の落選時や退任後の老後保障などは一切ないので、強い志を持つことの重要性を学ぶことが出来、大変有意義な基調講演でありました。

○パネルディスカッション「多様な人材の参画促進の観点から、地方議会議員のなり手不足問題を考える」と題し、コーディネーターとパネリスト4名によるパネルディスカッションが行われました。

■コーディネーター

辻 陽氏（近畿大学法学部教授）

■パネリスト

牧原 出氏（東京大学教授）

白石 洋一氏（読売新聞東京本社政治部次長）

山下 節子 氏（山口県宇部市議会議長）

長内 直也 氏（北海道札幌市議会議長）

パネルディスカッションでは、「地方制度調査会」や「持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会」、地方議会や地方議員に対する不信感が広がる中で、克服するための試み、現職の議長二人からは改めて認識した議会の役割について、なり手不足問題の解決に向けたテーマが出され、多様な角度から様々な提言を頂き参考になりました。すべての提言が栃木市に適合するかは分かりませんが、貴重な話を数多く聞くことが出来たいへん有意義でありました。

特に印象に残ったのは、理想論（資質と志の高い議員を増やし、市民への魅力発信に努め、なり手不足対策をする）と、現実に乖離があることが問題であると感じました。議員報酬の課題、二重負担（仕事と議員活動の両立）、落選リスク、家族への負担、誹謗中傷などのハラスメントなどの対応も、「なり手不足」のキーワードに思えました。

■8月28日（木）2日目

○課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

と題し、下記コーディネータ、報告者のもとパネルディスカッショ

ンを行いました。

■コーディネーター

牧瀬 稔 氏（関東学院大学法学部地域創生学科教授）

■事例報告者

今井 康善 氏（長野県岡谷市議会前議長）

平神 純子 氏（鹿児島県南さつま市議会議長）

中野 進 氏（石川県白山市議会議長）

パネルディスカッションの論点として①地方議会議員のなり手不足問題への具体的な取り組み内容。②地方議会議員のなり手不足問題への取り組みの成果と課題。③地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けた地方議会への提言。について報告がなされました。

事例報告のなかでは、議会情報のオープン化や住民の議会への参加、「議員のなり手不足に向き合う」シンポジウムの開催など、多種多様な報告を聞くことが出来ました。

地方政治の問題に果敢に挑戦された方々から、多種多様な実践事例を紹介いただき、多くを学ぶことが出来たいへん有意義でした。

「議員のなり手不足問題への取組報告」については、令和5年10月に北九州で行われたフォーラムでも行われ、全国的な課題である

と再認識するとともに、今回のフォーラムと2年前のフォーラムとの比較をして、見比べながら認識を確立しようと感じました。

今回の研修で得た知識や見聞をさらに深め、栃木市に反映していただけるよう努力して参ります。

以上

令和7年9月2日（火）

報告者 創政会 福田 裕司

別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金額 10,837 円

2025年 9月 30日

会派代表者氏名 小太刀孝之

支出項目	その他の経費
内 訳	① 自宅用パソコンのインターネット利用料（福田） （令和7年4月～令和7年9月分） 19,734円×1/6=3,289円 ② タブレット端末通信料 @629円×6か月×2名=7,548円 （令和7年4月～令和7年9月分）
事 由	調査研究活動用
債 権 者 住所・氏名	① ケーブルテレビ株式会社 栃木市樋ノ口43-5 代表取締役 高田光弘 ② 栃木市万町9-25 栃木市長 大川秀子

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	その他の経費
自宅のパソコンのインターネット利用料 1/6 充当 (福田)			
令和7年4月~令和7年9月分 19,734円×1/6=3,289円			

領 収 証 No. [REDACTED]

福田 裕司 様

金額 ¥19,734

但 令和7年4月~9月  
インターネット接続料として

令和7年9月30日

上記正に領収いたしました

〈税込価格〉

10%対象: ¥19,734

ケーブルテレビ株式会社 [REDACTED]




〒328-0024 栃木県栃木市樋ノ口町3-5

TEL0282-25-1811/FAX0282-25-1813

登録番号: [REDACTED]

(様式第5号)

### 領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	その他の経費
タブレット端末通信料 令和7年4月～令和7年9月分 政務活動費充当分 629円×6か月×2名 = <u>7,548円</u> (1人当たり3,774円)			
<b>納入通知書兼領収書</b>			
令和7年度		通知書番号 6700013967-00-00	
納付者	栃木市大平町新1448-4		
	小太刀 孝之 外1名 様		
政務活動費充当分 (4月～9月) 7,548円			
納付金額	7,548円		
納入期限	令和7年 9月30日		
所属	15050000 議会事務局 議事課		
会計	01 一般		
款	21 諸収入		
項	04 雑入		
目	04 雑入		
節	02 雑入		
細節	01 雑入		
説明	62 タブレット端末自己負担金等 (議事課)		
上記のとおり納付してください。			
栃木市長 大川 秀子 			
栃木市			
		収納済印	
			
6500081990000			
 A 5 0 7 6 7 0 0 0 1 3 9 6 7 0 0 0 0 A			